

令和7年度 学校評価表( 計画・中間・**最終** )

【 5月末・11月末・**3月初旬** 】

学校名(熊野第三小学校)

a 学校教育目標	自ら鍛え つよく 自ら磨く かしこく やさしい子	b 経営理念 ミッション・ビジョン	熊野町教育行政施策の方針「学ぶ力と豊かな心の実現」 共に高まり合う熊三小 学校文化の創造
-------------	--------------------------------	-------------------------	---

評価計画(5月末提出)					自己評価				学校運営協議会委員による評価			n改善方策			
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h	i	j 評価 A~D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	l 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	10月	2月	
					達成値	達成値			i= h/g 達成度	イ 適正	ロ 不適正				ハ 分らない
・・・ 健確豊 やかな な学心 体力の 育成	学びを深める子(わ かる・できる・やりたい を実現する力)の 育成	「できた!!」であ ふれる学校づくり ~ポジティブ行動 支援を通して~	・「できた!!」を後押しする 学習指導の工夫 ・体力・健康・安全に関する 学びの充実 ・よりよい集団をつくるため の取組の進化	90%	88.5%	91.6%	101.8	A	・「授業について語 ろう会」で焦点化し たテーマを設定し議 論したことが、各自 の授業実践に生か せている。職員室で 日常的に授業や教 材研究を語り合う教 職員の姿が見られ ている。 ・「くま三エクササイズ」 が継続的な取 組にならなかった。 ・データを基に課題 を分析し、学校全体 で取り組むPBS、各 学級で取り組む PBSを明確にして、 実行することができ た。	9	0	0	・取組の成果が 児童の姿に表れ ている。 ・毎年児童の成 長の基盤がしっ かりと作られてい る。来年度に向 けて、課題、目標 が明確になった。 ・授業を見て、ア ンケートの数値 が上がっている ことに納得した。 ・目的、その達成 のために立てた 目標を振り返っ てみることを大切 にしてほしい。 ・次年度、協働的 な学びが生まれ る手立ての工夫 に期待している。	・週1回の「授業に ついて語ろう会」 で、ラーンユニッ トが回りにくい教科 や場面について取 り上げ、みんなで 協議していく。 ・「くま三エクササイズ」 を継続的な取 組にしていきたい ため、授業の導入で の準備体操に使える ように環境を整え る。 ・子供発信の「やりたい !!」をそれぞれの強みを 生かして「できた!!」につ なげ、みんなで一緒に 認め合い喜び合うこと で、「次もやりたい!!」に つなげていく。	
そ の 他	児童 教職員 保護 者 地域と共に創る 学校文化の創造	1 学校が「触れ合 い」「憩い」の場に 2 「子供基点」の 豊かな教育活動の 展開	1-①CSルームの活用の工 夫 1-②くまSUNクラブの充実 2-①生活科・総合的な学習 の時間への地域人材の活 用	90%	76.8%	95.0%	105.6	A	・運営委員会を中心に 考えた仕掛けにより、CS ルームの来室者が増 え、異学年での交流を 楽しむ姿が見られた。 ・CSルーム開放週間を 活用し、保護者が集まり 語り合う場が設けられ、 少しずつ保護者同士の つながりが見え始めて いる。 ・地域、児童発信のくま SUNクラブを実施する ことができた。 ・地域の方の力を借りな がら学習活動を進めたり、 児童が地域に出かけ たりしながら、年間を通 して教育活動を行うこと ができた。	9	0	0	・全体的には好 評価だが、反対 の立場の方もい ることを意識して がんばってほしい。 ・第三小は、学 校、保護者、地 域がつながり、子 供たちの教育の ため「できる人が やる」というのは 素敵なことだと思 う。子供たちが 「自分の軸」を確 立して、これから 時代が変化する 中でも成長して ほしいと思う。	・CSルーム開放 週間に、CSルー ムへ行く児童や 教職員に偏りが あることから、運 営委員会を中心 に、CSルームに 行きたくなるよう な仕掛けを考え、 実施する。	・保護者と連携しな がら、児童・教職 員・保護者・地域 の「やりたい!!」を 実現していく。 ・各学年の年間指 導計画の中に、CS を活用した教育活 動を位置付け明記 する。

j評価 A~D 4段階評価

- A: 100 ≤ (目標達成)
- B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
- C: 60 ≤ (もう少し) < 80
- D: (できていない) < 60

学び続ける力の育成 思いやりの深化 学校・地域の連携強化